

令和 5 年度 佐賀整肢学園・かんざき日の隈寮事業報告（総括）

佐賀整肢学園・かんざき日の隈寮
施設長 大島毅

（総括）

令和 5 年度の事業計画に基づき、救護施設佐賀整肢学園・かんざき日の隈寮（定員 70 名）の施設運営を行った。

事業の実施に当たっては、感染症対策に努めながら、利用者の活動や業務内容等について、隨時見直しを行った。

関係機関と連携を密に取りながら、循環型施設として地域や他種別施設等への移行推進、自己実現に向けた各種サービスの充実に努めた。また、地域社会との連携、福祉人材の育成にも積極的に取り組んだ。

地域における公益的な取り組みとして、生活困窮者自立支援法に規定された就労訓練事業、生活困窮者の一時受入事業（独自事業）、生活困窮者に対する相談支援事業（独自事業）を実施した。

利用者の状況として、入所定員 70 名に対し、年間平均利用者は 76.5 名（前年度平均 76.9 名）となり、定員に対する利用率は 109%（前年度 110%）で推移した。

令和 5 年度のかんざき日の隈寮の決算は、経常増減差額 33,613 千円で前年の 36,100 千円に比べ、2,487 千円の減益となり、当期活動増減差額 33,079 千円、次期繰越活動増減差額 370,714 千円であった。積立金の総額 354,500 千円となり、純資産の合計は 1,012,724 千円で前年度より 22,234 千円の増となった。

1. 施設設備の整備

（1）機器整備関係

- ・送迎用軽自動車 1 台（740 千円）を購入した。
- ・パソコン 1 台（162 千円）を購入した。

（2）設備整備関係

- ・非常放送設備の故障のため、修繕（1,540 千円）を行った。